



日本総研

The Japan Research Institute, Limited



広島商工会議所 & ひろしま地球環境フォーラム

SDGsセミナー & ワークショップ  
【中級編】「SDGsと事業の紐づけの先を考える  
：インパクトとは何か」



Eco-Forum

2023年1月18日

10:00-12:00

株式会社日本総合研究所  
橋爪 麻紀子 長谷 直子

# 本日の構成

## はじめに：講師紹介

### 本研修の目的

「初級編」振り返り + α

SDGsと業務を紐づける（個人ワーク有）

組織内の体制構築・浸透

インパクトとは

質疑応答

# 講師紹介



## 橋爪 麻紀子 シニアマネジャー

NTTデータ、国際協力機構（JICA）を経て、2012年より現職。  
ESG側面の企業評価業務に従事する傍ら、ESGを重視した金融商品の開発、社会的インパクトの創出に焦点を置いた活動を行っている。近年では、自治体や地域企業向けにESGやSDGsに関する講演、執筆を積極的に実施。  
共著に「「わたし」のための金融リテラシー」「行職員のための 地域金融×SDGs入門」「ビジネスパーソンのためのSDGsの教科書」「投資家と企業のためのESG読本」等。



## 長谷 直子（はせ なおこ）

2002年株式会社日本総合研究所入社。産業ソリューション事業本部を経て2006年より現職。2007年から2008年まで経済産業省に出向し、地球温暖化政策などの業務に携わる。専門分野は気候変動・環境問題。評価型融資における企業評価業務やサステナブル・ファイナンス商品の開発支援を行う。著書に『行職員のための地域金融 x SDGs』、『だから日本の新エネルギーはうまくいかない！』（いずれも共著）等。

# 本日の構成

はじめに：講師紹介

## 本研修の目的

「初級編」振り返り SDGsの「これまで」と「これから」

SDGsと業務を紐づける

事前課題とバックカスティング

質疑応答

# 本研修の目的

本研修のセミナー・ワークショップのコンテンツが  
参加者の皆様の SDGsやサステナビリティに関する行動のきっかけになることを企図しております。

「知識」 から 「行動」 へ



 本日の講座については、会場／オンライン問わず、お声がけする可能性があります。

# (オンラインの方) ご質問はZoomチャットへお願いします



# 本日の構成

はじめに：講師紹介

本研修の目的

「初級編」振り返り +  $\alpha$

SDGsと業務を紐づける

事前課題とバックカスティング

質疑応答

# 「初級編」振り返り+ a でお伝えしたかったこと

現在実施しているSDGsの取り組みが  
**将来の世代**のニーズを満たすものになっているか

一見遠いところで起きている環境問題・社会課題を  
自分ごととして捉えられるか



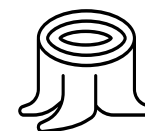
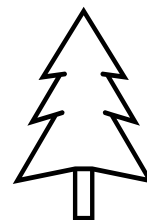
# 「初級編」振り返り：若者が未来に期待できない日本

Q 自分の国の将来についてどう思っていますか(回答者：2021年時点で17-19歳)  
という問いに対し、A「良くなる」と回答した日本の18歳は たった**13.9%**



# 「初級編」振り返り：そもそも持続可能な開発とは

**将来の世代**のニーズを満たしつつ、  
**現在の世代**のニーズも満足させる  
開発のこと



# 「初級編」振り返り：そもそも持続可能な開発とは

**将来の世代**のニーズを満たしつつ、  
**現在の世代**のニーズも満足させる  
開発のこと



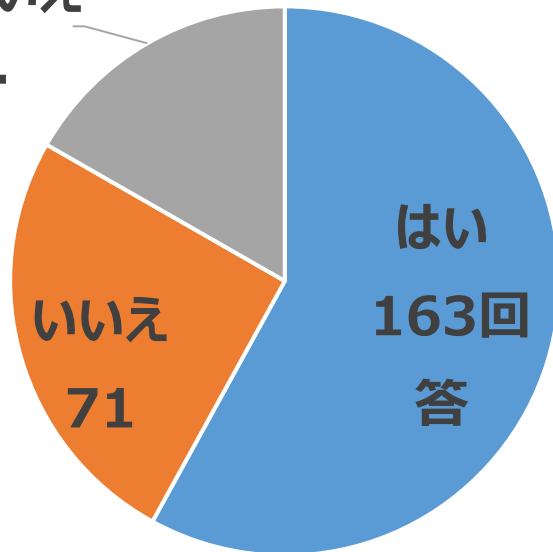
現在実施しているSDGsの取り組みが  
**将来の世代**のニーズを満たすもの  
になっているか？

# SDGsウォッシュが、SDGsへの不信を生んでいる？

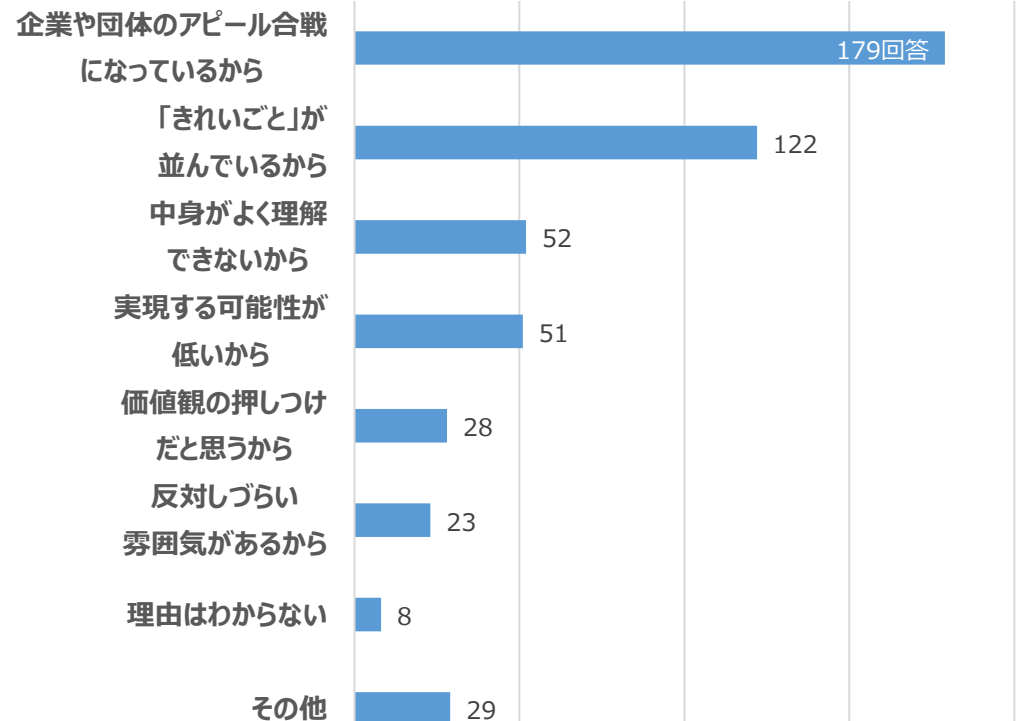
今のSDGsの取り組みは、「将来の世代のニーズを満たすものになっていない」と考える人が増えている

問1. 関係する記事や番組が増え、企業がこぞって貢献をうたうSDGsですが、何だか「うさんくさい」と感じたことはありますか？

どちらともいえない…



問2. 「SDGsはうさんくさい」という意見があるのはどうしてだと思いますか（二つまで回答可）



# 「うさんくさい」と考える回答者の声（一部）

SDGsの理念自体には賛成するが、企業が広く宣伝するやり方には、特に環境保護の点で大きな疑問を感じる。企業の活動目的は、商品をできるだけ多く売ることだ。このような人間活動自体が、SDGsの環境保護の目標と相容れないものではないか。（後略）。（愛知県 男 10代）

最近、SDGsバッジを付けた大人をよく見ます。しかし、私としてはただ時代の流れに沿って意味をよく理解せずに付けている人が多いのではないかと感じています。皆が付けているから付けるのではなく、本質を理解して考えた上で付けるべきだと思います。（後略）。（愛知県 男 10代）

“今の子どもたちに残すべき未来から、自分たちが搾取している”という実感を、沢山の人が持つようになり、一人一人の意識が変わらないとSDGsの実現は難しいと思います（後略）。（東京都 男 60代）

SDGsの中で、特定のものだけフィーチャーされておりバランスを取ろうとするような企業や団体がほとんど見受けられない。（東京都 男 20代）

# 「初級編」振り返り：ウクライナ危機

ウクライナ危機が、世界経済の回復を更に遅らせている



出所：ストックフォトとベクター画像を持つウクライナでのロシアの戦争についての真実フォルダ -

次世代の国づくり

出所：国連広報センター SDGs報告2022



# 「初級編」振り返り：SDGsの現在地 ウクライナ危機

経済の停滞が、さまざまな社会課題に影響している

ウクライナ危機が **世界の最貧困層** の食料不足の引き金に

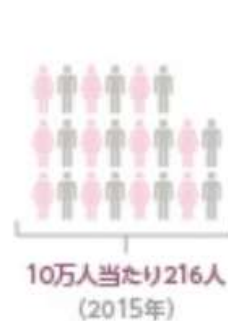
ウクライナと  
ロシア連邦は  
世界に食料を輸出：



**世界の難民の数は  
過去最多を記録**

ウクライナでの戦争は  
この人数を **さらに押し上げ**

出身国の外にいる**難民**の数は  
2015年から2021年で**44%増加**



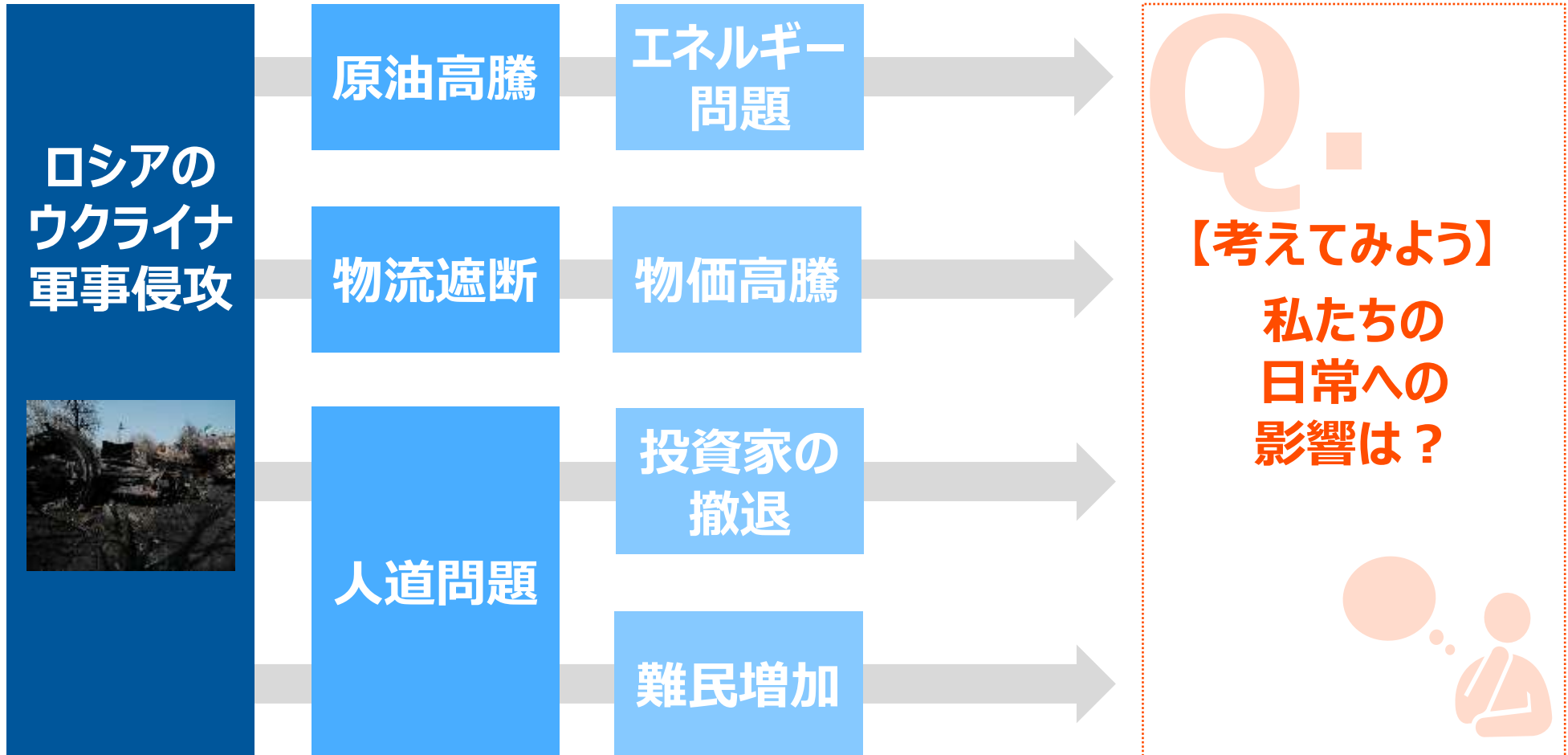
出所：国連広報センター SDGs報告2022

**Q. ウクライナ危機のような、  
一見遠い世界の出来事を  
どのようにして「自分ごと」で考えるか**

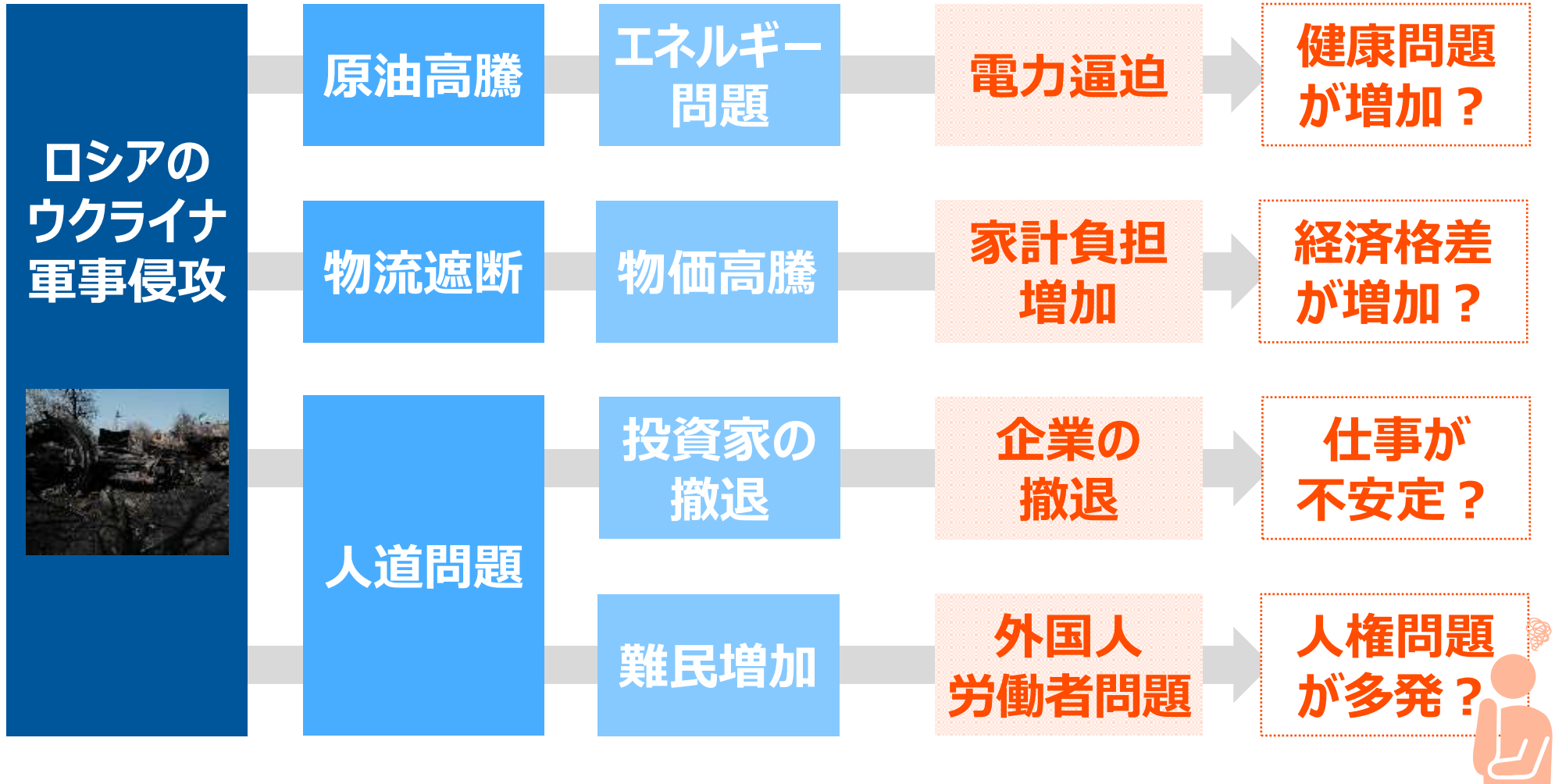




# マクロの出来事をどう自分ごと化するか



# 時間軸をずらして考えてみる



春、風が吹くと....



『風が吹けば桶屋が儲かる』

・巡り巡って思いがけない  
事に影響がでること

# 「初級編」振り返り+α でお伝えしたかったこと（再掲）

現在実施しているSDGsの取り組みが  
**将来の世代**のニーズを満たすものになっているか

一見遠いところで起きている環境問題・社会課題を  
自分ごととして捉えられるか

# 本日の構成

はじめに：講師紹介

本研修の目的

「初級編」振り返り +α

**SDGsと業務を紐づける（個人ワーク含む）**

組織内の体制構築・浸透

バックカスティング

質疑応答

# 組織でSDGsに取り組むステップ°

✓ 手始めに取り組むべきは自社取り組みとの紐付け作業。



## STEP1 :

### 事業とSDGsの紐付け

- 課題把握・実績の情報開示
  - 株主・投資家
  - 評価機関・自治体
  - 地域住民・NGO etc.



## STEP2:

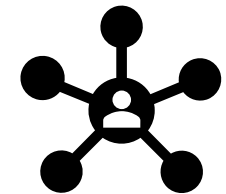
### 組織内の意識改革・浸透

- 社員のロイヤルティ向上
- ミレニアル世代・Z世代へのアプローチ、採用
- 事業継承（中小企業）

## STEP3:

### 変革への足掛かり

- 新規ビジネス創出
- 事業構造の転換
- オープンイノベーション
- 第二創業（中小企業）



# そもそも、なぜ業務と SDGsの目標を紐づけるのでしょうか？

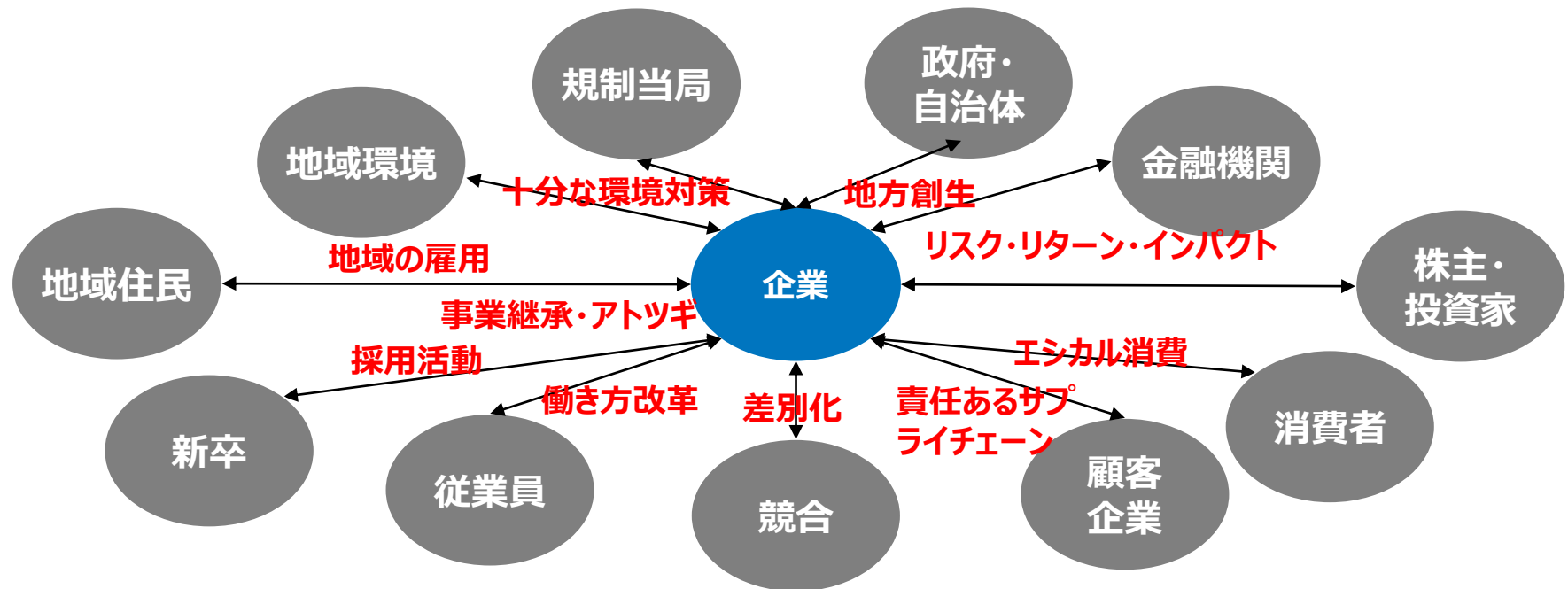


- ①現状把握（何ができている/できていないか）
- ②目標設定（何をどこまでやるか）
- ③どのステークホルダー<sup>(\*)</sup>への対応かを理解する  
（誰のための活動なのか）

（\*業務の利害関係者）

# ステークホルダーへの対応とは？

「地域住民」からの要請、「顧客・取引先」からの要請、「投資家・株主」への報告対応、「自治体・行政」からの補助金の獲得、「社員」のモチベーションアップ、「新卒」採用活動での学生へのアピール、「経営層」からの依頼、競合との差別化、地域住民・非営利団体へのアピールなど・・・様々。

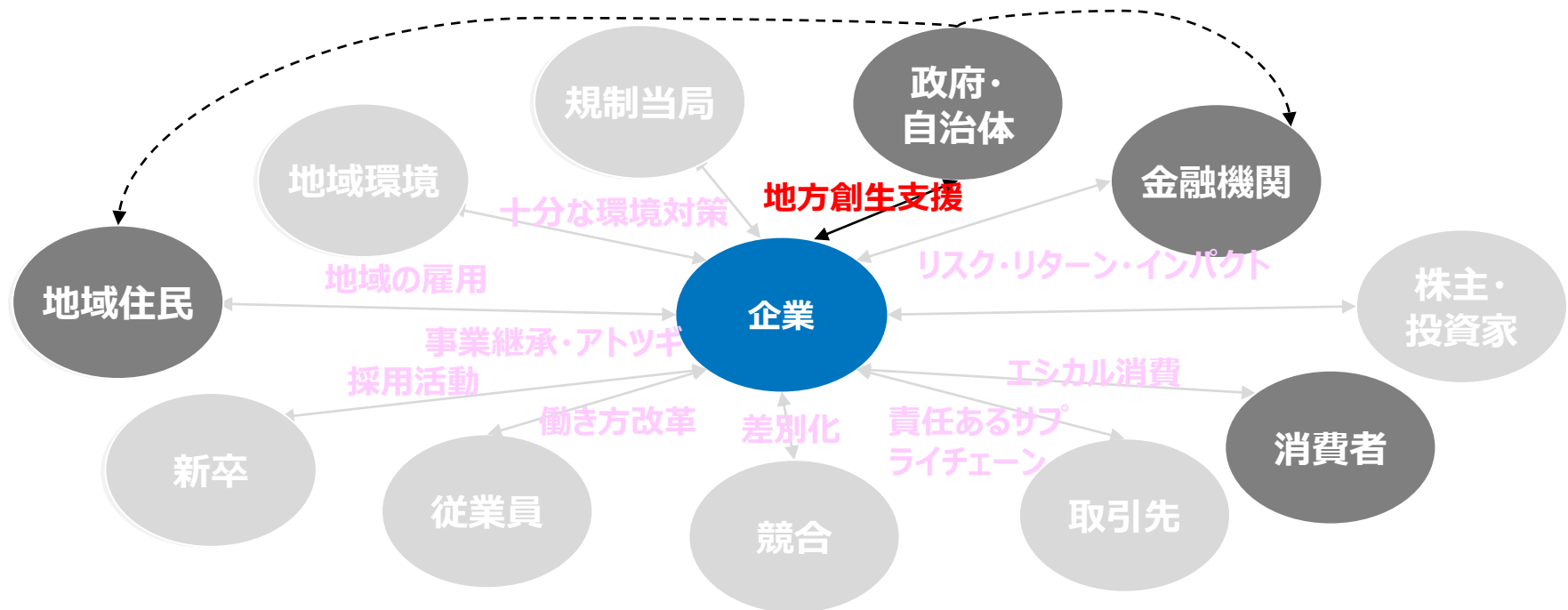




# あなたの仕事で「誰に」「どんな配慮」をしていますか

- ✓ 皆さまの事業、業務で大事なステークホルダーは？＝「誰に」「何を」提供するお仕事でしょうか？
- ✓ 「企業」以外の方は中央の楕円を置き換えて、お考えください

## 例：地域で商店を経営する



# 紐づけることは、難しくはない

各目標の具体的内容はその下の「ターゲット」と「評価指標」を見るとわかりやすい



## 目標8 働きがいも経済成長も ターゲットと評価指標（一部）

社内の  
「働き方改革」  
を実施する場合



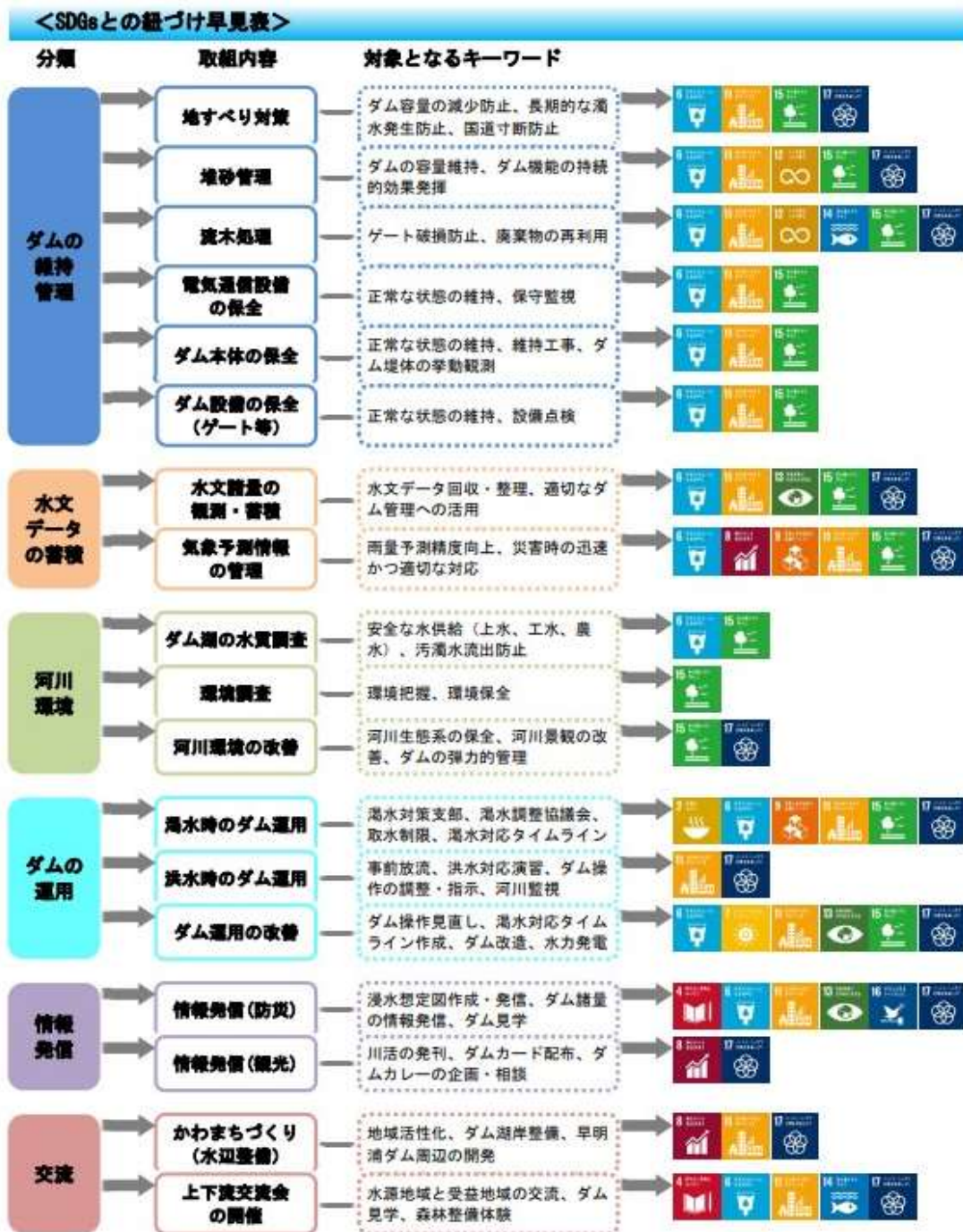
ターゲット	評価指標
⋮	
8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。	8.5.1 女性及び男性労働者の平均時給（職業、年齢、障害者別） 8.5.2 失業率（性別、年齢、障害者別）
⋮	

# 様々な紐づけが 既に実施されている (例：環境省 SDGs との紐づけ早見)



出所：環境省：「すべての企業が持続的に発展するためにー持続可能な開発目標(SDGs)活用ガイドー[第2版]」(令和2年3月)P21.

# 様々な紐づけが 既に実施されている (例：国交省 四国地方整備局 吉野川ダム 統合管理事務所)



# **【個人ワーク】 活動とSDGsを紐づける**

**\* 各種早見表や、  
もしくは、SDGsの目標とターゲットを  
ご参照ください**



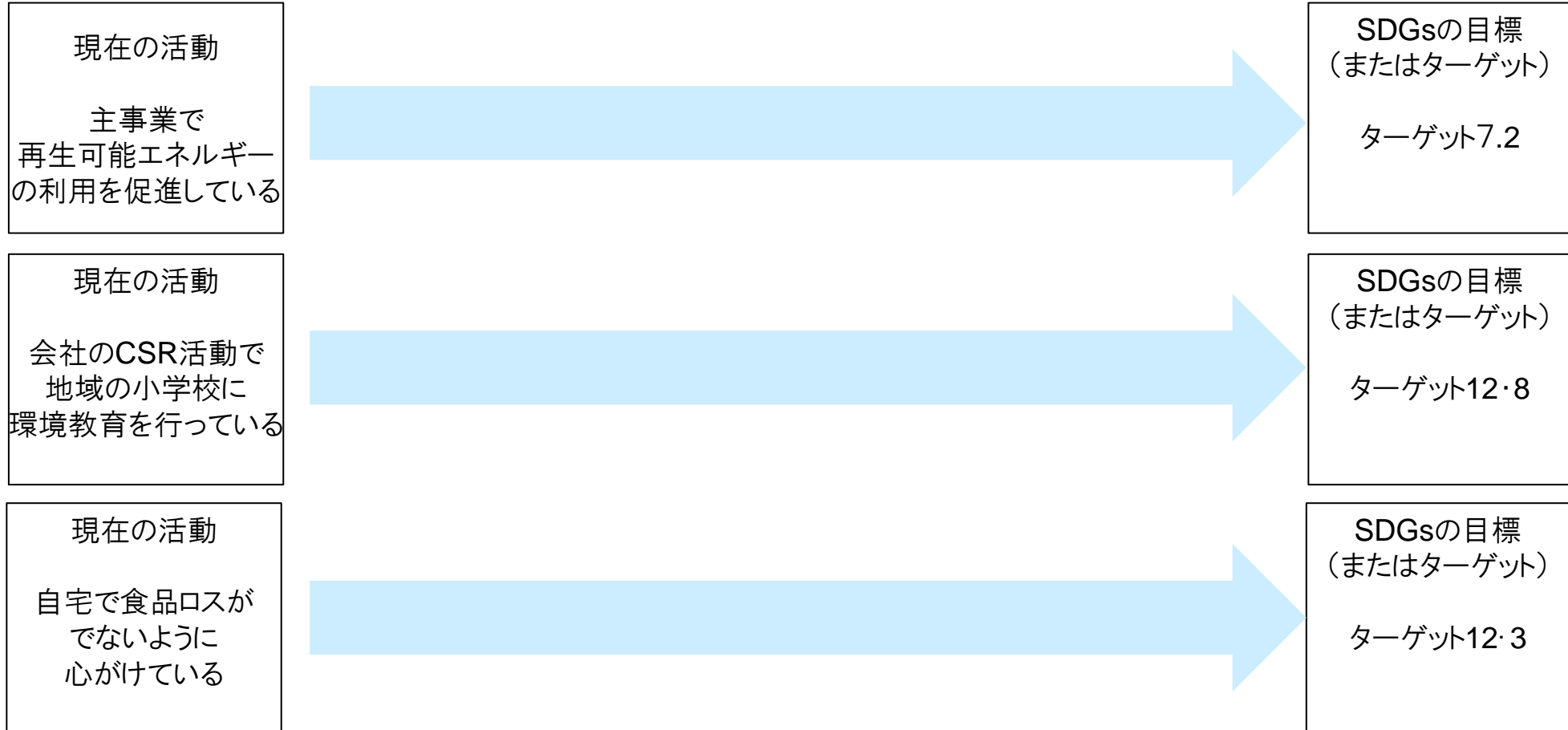
# 【考えてみましょう】活動とSDGsを紐づける

あなたが現在実施している活動（業務や日常生活なんでも）を3つ取り上げ、それが紐づけられそうな、SDGsの目標・または、ターゲットを考えてみましょう。（複数可）

現在の活動		SDGsの目標 (またはターゲット)
現在の活動		SDGsの目標 (またはターゲット)
現在の活動		SDGsの目標 (またはターゲット)

## 【例】活動とSDGsを紐づける

あなたが現在実施している活動（業務や日常生活なんでも）を3つ取り上げ、それが紐づけられそうな、SDGsの目標・または、ターゲットを考えてみましょう。（複数可）



# 【考えてみましょう】2025年までの個人の目標設定

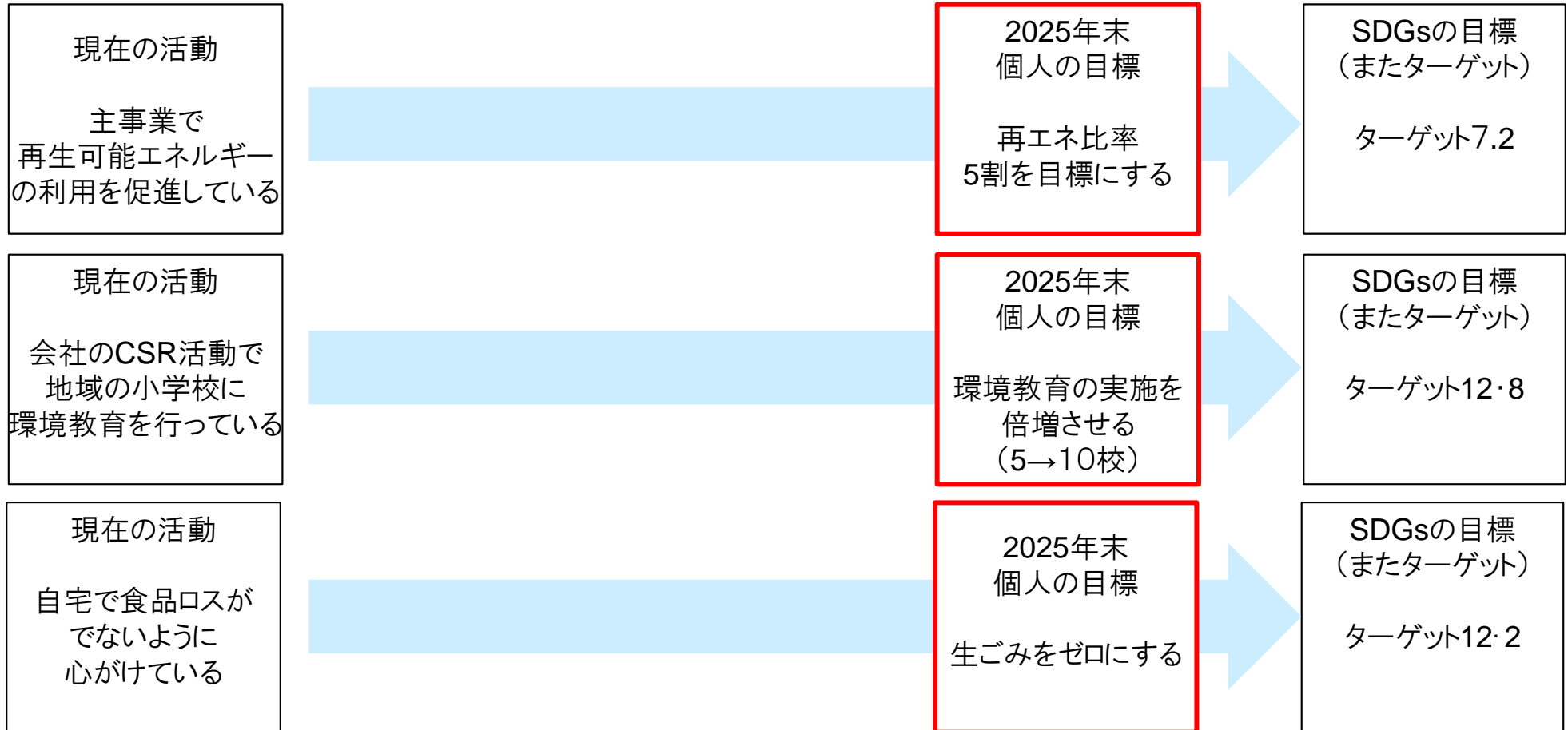
設定した目標の達成に貢献するまでには、2025年末までにどのような目標が達成されている状態になっていけばよいと思いますか？（複数可）





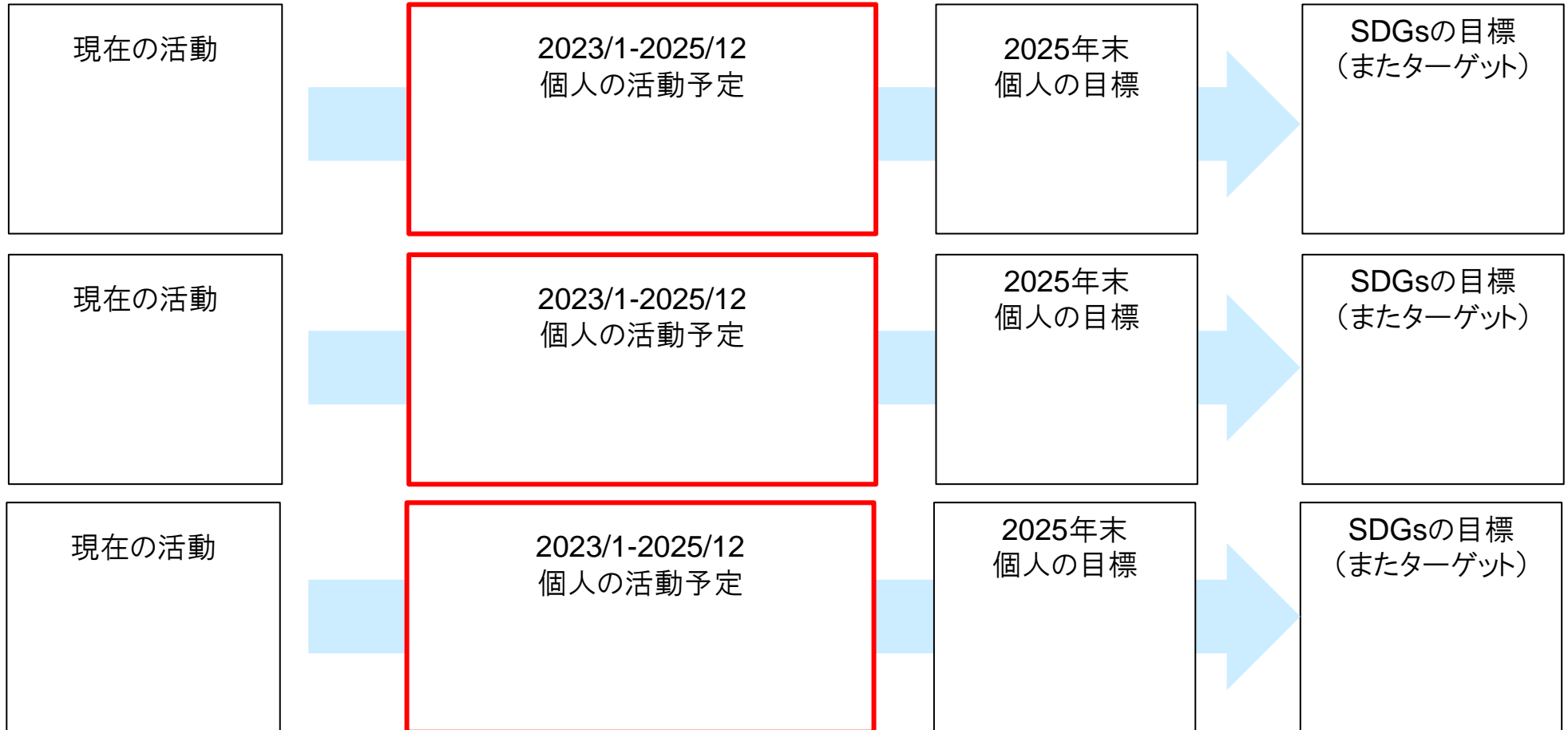
# 【例】2025年までの個人の目標設定

設定した目標の達成に貢献するまでには、2025年末までにどのような目標が達成されている状態になっていけばよいと思いますか？（複数可）



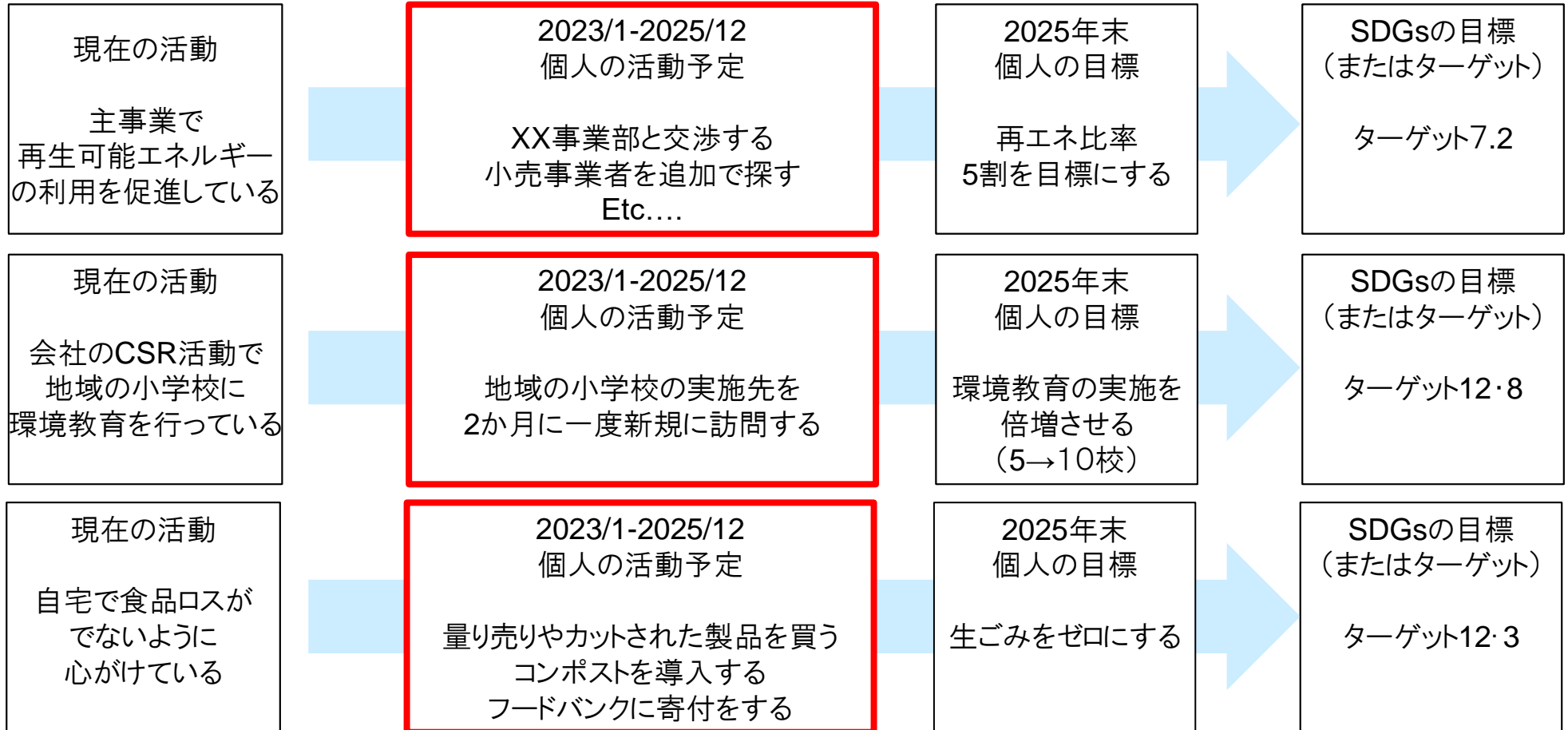
# 【考えてみましょう】2025年までの個人の目標設定

2025年末に目標達成するには、今から、約2年間でどんな活動をやってみることが考えられますか？



# 【例】2025年までの個人の目標設定

2025年末に目標達成するには、今から、約2年間でどんな活動をやってみることが考えられますか？



# ロゴに至るまでの「道すじ」を示すことが重要

- ✓ 「事業の実施→SDGsに貢献」と一足飛びにいかない
- ✓ その間のストーリーやプロセス、マイルストーンごとの目標設定を重視する
- ✓ 継続したマネジメントが必要である



我が社は、廃棄物処理事業を通じて、地域環境の改善に貢献しています。

**5W1Hがない**



**11.6** 2030年までに、大気の水質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。

**12.5** 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

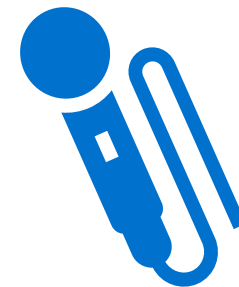


我が社は、廃棄物処理事業を通じて、地域環境の改善に貢献しています。

X地点で、年平均XXトンの廃棄物を処理、XXトンのCO2排出量減に貢献します

2030年迄に、XX%の資源リサイクル率を目指します。

# 皆さまのワーク状況をお伺いいたします



**(3つの活動の中で、最も「社会・環境・経済」への良い影響を与えられそうなものを教えて下さい)**

# 本日の構成

はじめに：講師紹介

本研修の目的

「初級編」振り返り + a

SDGsと業務を紐づける

組織内の体制構築・浸透

バックキャストイング

質疑応答

# SDGs Q&A (よくある質問)

# Q

**Q. 紐づけしたあと、どうやって社内で浸透させたらよいか わかりません。体制などをどう作るべきか教えてほしい。**

# 組織でSDGsに取り組むステップ°（再掲）

- ✓ 手始めに取り組むべきは自社取り組みとの紐付け作業
- ✓ 情報開示のための紐付作業では「変革」が起きない。社内外での「追加的」取組が重要



**STEP1 :**  
事業紐付け、課題把握  
実績の情報開示

- 株主・投資家
- 外部評価機関・自治体
- 地域住民・NGO etc.

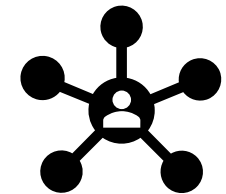


**STEP2:**  
組織意識改革

- 社員のロイヤルティ向上
- ミレニアル世代・Z世代へのアプローチ、採用
- 事業継承（中小企業）

**STEP3:**  
変革への足掛かり

- 新規ビジネス創出
- 事業構造の転換
- オープンイノベーション
- 第二創業（中小企業）





# SDGsの取組み体制の構築: 5つの視点

組織に期待される5つの視点を記す。

視点	期待される状態
方針・目標設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsへの貢献に向けた分かりやすい宣言や方針を策定し、自社の事業内容に沿った目標がある</li> </ul>
実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつまでにどのような取り組みを行い、いつまでに目指す姿に到達しようとしているか、といった点が明確になっている（従業員の共通認識にもなっている）</li> </ul>
推進体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsへの貢献に責任を持つ部署や担当者を設置、もしくは、社内の各部署を横串にしたプロジェクトチームを組成するなどの体制がある</li> </ul>
進捗確認と改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsへの貢献に向けた進捗確認について、定例的な会議体の中での一議題とする等、関係者が定期的に進捗状況を確認する仕組み作りができています</li> </ul>
情報開示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上場・非上場を問わず、SDGsに積極的に取り組んでいる企業では、情報開示（情報発信）にも積極的である</li> <li>・実施している活動を定期的にまとめ、公開することで、改善ポイントの発見になったり、投資家から新卒まで、ステークホルダーとのコミュニケーションに活用できている</li> </ul>

# 事例：来ハトメ工業（方針・目標設定／情報開示）

（事例）埼玉県八潮市の来ハトメ工業株式会社（従業員36人）では、事業活動に伴うCO2排出削減に向けて、「2030年度までにCO2排出量を2013年度比50%削減する」という中長期的な目標を設定。環境経営レポートでは、年度毎のCO2排出量の実績値の経年変化を示し、目標に対する進捗状況についても分かりやすく開示。

※調査地：D-8

## 環境経営レポート

2022年版

〈2021年3月1日～2022年2月28日〉

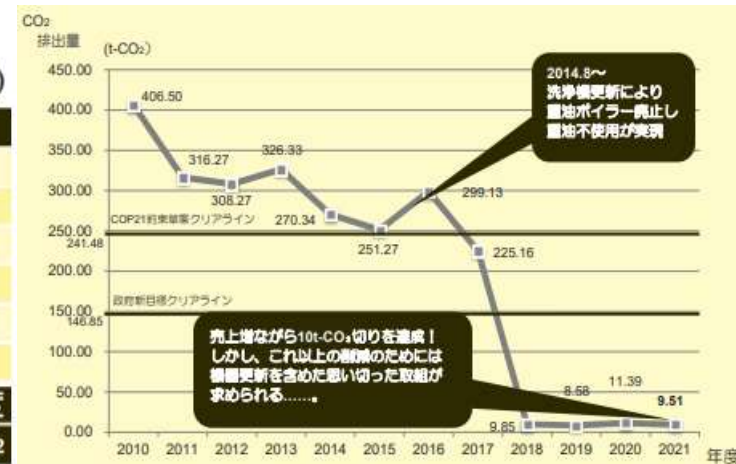
来ハトメ工業株式会社



## Plan 中長期環境経営目標

(単位：kg-CO<sub>2</sub>)

年度	目標値	基準年度比
2021	216,034	33.8%削減
2022	210,160	35.6%削減
2023	204,287	37.4%削減
2024	198,413	39.2%削減
2025	192,539	41.0%削減
2030	163,169	50.0%削減
基準年度	2013年度	
※基準年度実績	326,337kg-CO <sub>2</sub>	



# 事例：オガワエコノス（方針・目標設定／推進体制）

（事例）家庭系・事業系廃棄物処理事業や、ごみ処理施設等の維持管理事業等を行う株式会社オガワエコノス（従業員241人）は、「SDGs行動宣言」を掲げ、2030年度に向けた数値目標を設定。SDGsの取り組みを全社的に推進するため、常務取締役を推進責任者としたうえで、推進管理者である経営管理委員のもと、ISO部門責任者などのSDGs推進リーダーが各取り組みを推進する体制を整備。

## SDGs行動宣言

オガワエコノスは“Think Globally, Act Locally”を掲げ、『自然と人にやさしい会社を実現する』という理念のもと、適正処理、高品質の事業活動と社会貢献活動を通じて、SDGsの達成に貢献し、地域社会とともに持続的に成長していくことを目指します。

2020年1月1日 代表取締役 小川 勲

	2020年度実績	2021年度実績	2030年度目標値	単位
BOD(芦田川水系)	1.275	1.2	1.0	mg/L
フラフ(ダイイチ企業)	9,304	9,370	19,000	t
木質チップ(エコノス岡山)	2,335	2,624	3,000	t
木質チップ(ダイイチ企業)	6,556	7,857	12,000	t
埋め立て処分量	1,796	1,799	300	t
リサイクル率(本工場)粗大・資源・家電	88.1	87.1	100	%





# 事例：大川印刷（推進体制／情報開示）

（事例）株式会社大川印刷（従業員40人）では、「SDGs経営戦略」を策定し、経営計画の中で、本業で貢献可能なSDGsを特定。「CO2ゼロ印刷」や、2020年までの「ごみゼロ工場」を推進している。また、パート従業員を含め全従業員を対象に、社内でワークショップを開催し、各自の問題意識の共有やSDGsとの関連付けを実施した上で、プロジェクトチームを立ち上げて推進している。



環境印刷技術指導を同業者向けにスタート

自社の環境印刷だけでは現在の気候変動の問題へのアプローチは小さいと考え、同業者の皆さんに環境印刷の技術...

ブログ 2022.11.03

CO2ゼロ印刷 CSR CSV FSC SDGs  
カーボンオフセット コンサルティング マスチナビリティ

「CO2ゼロ印刷」はお客様のCO2の「スコアアップ」に繋がります。

コニカミノルタさんの記事に掲載していただきました。ご一読ください！

メディア 2022.10.11

CO2 CO2ゼロ印刷 脱3K 687 SDGs TCFD  
ユニカミノルタ サプライヤー スコアアップ 中小企業

## 事例：ウテナ（推進体制）

（事例）株式会社ウテナ（従業員140人）では、SDGsの重点目標を特定する際に、社内の全部門・全メンバーが参画し、「社会課題」の洗い出しを実施。また、企業行動指針にSDGsの概念を盛り込み、日々、従業員がどのように行動指針を自分の業務や行動に落とし込んでいるかを共有する場を設けるとともに、各部署のSDGsの取り組みを紹介する社内ラジオを配信。



社内ラジオの収録風景



# 事例：西岡化建（情報開示）

（事例）塗装工事を専門とする西岡化建株式会社（従業員39人）は、環境経営活動の取り組み内容をまとめた「環境経営レポート」を毎年公開。2020年度の環境経営レポートは、環境経営第24回環境コミュニケーション大賞において、最も優れたレポートに与えられる「環境報告大賞（環境大臣賞）」を受賞、2021年度は「エコアクション21 オブザイヤー 環境経営部門」において、銀賞を受賞。エコアクション21を経営活動に上手く活かしており、カーボンニュートラルに向けた中小企業の模範となる活動レポートであるとの評価を受けている。



**主な環境負荷の実績 環境目標・実績**

**主な環境負荷の実績**

項目	単位	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素排出量	kg-CO2	80,620	74,560	70,265
廃棄物排出量	t	136.52	72.86	61.38
一般廃棄物排出量	t	0.55	0.57	0.65
産業廃棄物排出量	t	135.98	72.29	60.73
水道水使用量	m³	113	154	140
化学物質 (PRTF物質)	kg	7,339	2,835	2,995

※電力の二酸化炭素排出量換算係数 0.496kg-CO2/kWh

**環境目標・実績**

項目	単位	2020年	2021年	2022年
電力の二酸化炭素排出量	kg-CO2	10,455	10,329	8,061
電力の二酸化炭素排出量削減率	%	99%	78%	95%
電力の二酸化炭素排出量削減率	%	17.42	17.24	17.07
太陽光発電による発電量	kg-CO2	—	6,684	6,650
太陽光発電による発電量削減率	%	—	100%	100%
廃棄物削減率	%	99%	95%	95%
土壌二酸化炭素排出量削減率	%	99%	95%	95%
一般廃棄物の削減	kg	665	537	531
一般廃棄物の削減率	%	95%	115%	94%
産業廃棄物の削減	kg	136	71	61
産業廃棄物の削減率	%	99%	94%	98%
水道水の削減	m³	156	154	140
水道水の削減率	%	99%	95%	98%
水道水の削減率	%	0.26	0.25	0.23
PRTF物質使用量の削減	kg	2,835	2,806	2,995
PRTF物質使用量の削減率	%	99%	105%	99%
工場内上の環境配慮	kg	52,350	32,674	28,786
工場内上の環境配慮率	%	101%	83%	102%

※LPG、灯油、廃油は少量のため数値目標を設定しませんが削減に努めています。



# 本日の構成

はじめに：講師紹介

本研修の目的

「初級編」振り返り + a

SDGsと業務を紐づける（個人ワーク有）

組織内の体制構築・浸透

インパクトとは

質疑応答





# そもそも「インパクト」とは？



事業や活動の結果として生じた  
社会的、環境的な変化、便益、学び  
その他効果

# 「インパクト」「課題解決」が評価尺度になる

2022年6月7日閣議決定「骨太の方針」より

“ 「成長と分配の好循環」による新しい資本主義の実現に向け、これまで官の領域とされてきた社会課題の解決に、民の力を大いに発揮してもらい、資本主義のバージョンアップを図る。

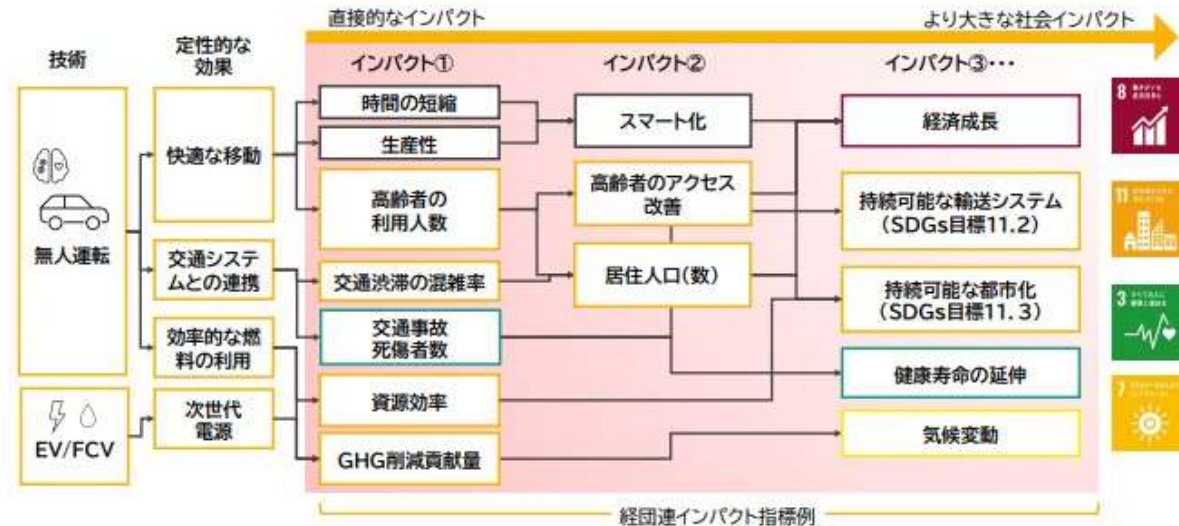
(中略)

従来の「リスク」、「リターン」に加えて「インパクト」を測定し、  
「課題解決」を資本主義におけるもう一つの評価尺度としていく  
必要がある。”

# 参考：経団連や金融庁も「インパクト」に注目

22年6月、事業の社会性の対話のために、インパクト指標の活用のための提言・報告書が公表

## レジリエンス指標の活用例

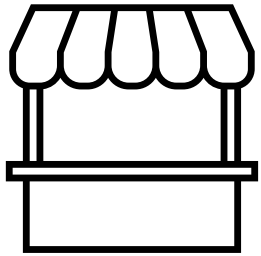


- インパクト指標例を適宜選び、配置することで、事業・イノベーションがより広く社会に貢献する流れを整理することができる。
- 例えば、無人運転技術は、「交通システムとの連携」をもたらし、その効果は、直接的には「交通渋滞の混雑率」というインパクト指標に表れると考えられる。これに加えて、高齢者のアクセス改善や、都市の居住人口数などのインパクト指標にも間接的に影響を与える。ひいては持続可能な輸送システムや持続可能な都市化に貢献する。

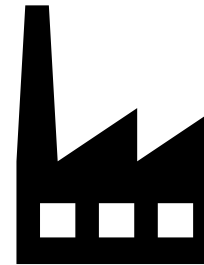
出所：一般社団法人 日本経済団体連合会

# ①なにを「インパクト」と位置付けるべきか：

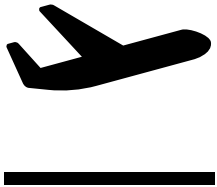
組織の事業内容や、規模、地域性、ステークホルダーによって  
「重要課題（マテリアリティ）」は大きく異なるので、それに見合った「インパクト」を考える



■小売：  
製品品質  
製品安全  
製品への環境配慮など  
■大事なステークホルダー：  
消費者、取引先など



■エネルギー：  
エネルギーマネジメント  
GHG排出量削減など  
■大事なステークホルダー：  
需要家、燃料調達先など



■運輸：  
安全運航  
重大インシデント管理  
GHG排出量など  
■大事なステークホルダー：  
乗客、荷主など



■サービス業：  
顧客のプライバシー  
労働慣行  
消費者保護など  
■大事なステークホルダー：  
消費者など

# ①なにを「インパクト」と位置付けるべきか：

組織の事業内容や、規模、地域性、ステークホルダーによって  
「重要課題（マテリアリティ）」は大きく異なるので、それに見合った「インパクト」を考える

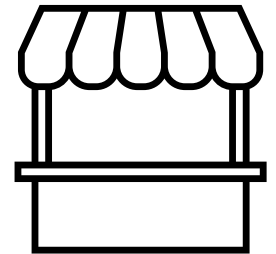
## 重要課題 の特定プロセス

1. 自組織の事業の課題として、「経済、環境、社会に対して、より大きなインパクトがあるもの」を洗い出す
2. 自組織のステークホルダーを洗い出す
3. 「1」課題 と「2」のステークホルダーを組み合わせて、「誰に何を」を考える
4. 3の優先度を決定する

(例)

### 1.食品小売の重要課題：

経済：廃棄費用、地域雇用、  
環境：ゴミ問題、過剰包装、  
社会：騒音、地域交流



### 2.大事なステークホルダー：

買物客、仕入れ先、地域住民、  
物流業者、従業員、商店街

### 3. ステークホルダー x 課題：

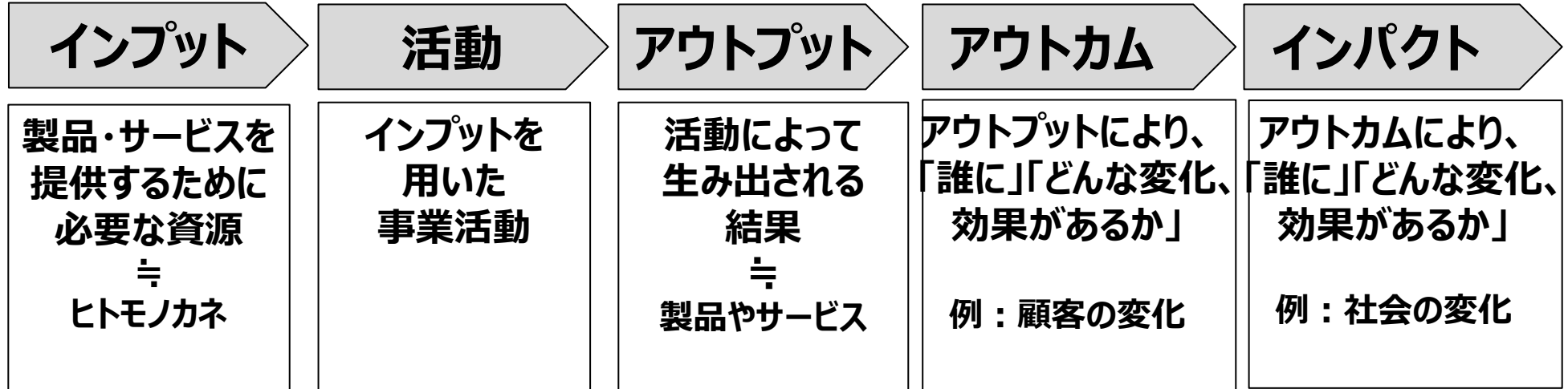
例：買物客 x 食品ロス

例：地域住民 x 積極採用

例：従業員 x 地域環境の美化

# ロジックモデルで考える

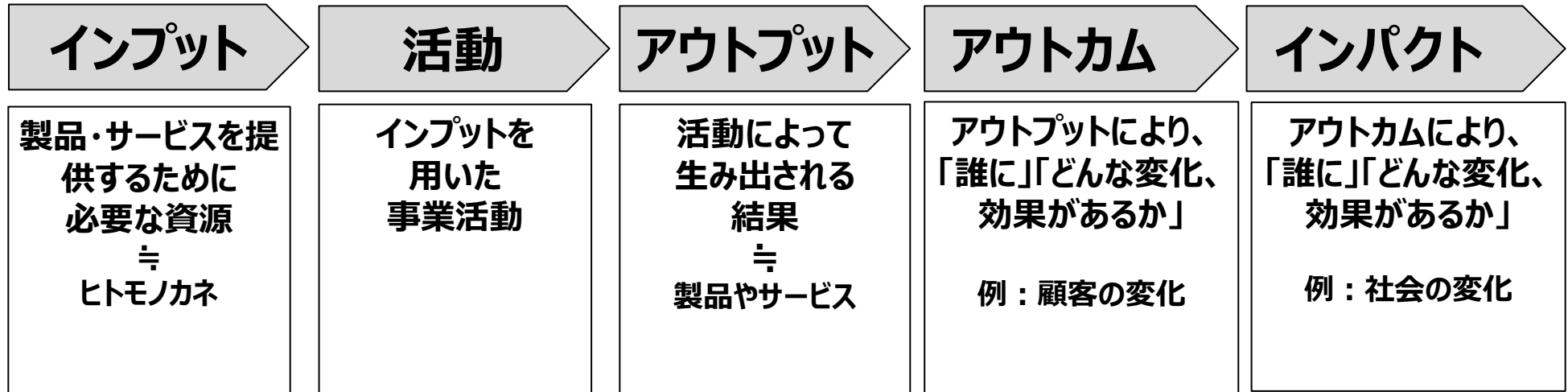
事業や組織が最終的に目指す目的を達成するまでの論理的な道すじを図式化したもの。  
異なる立場の人々が、戦略の共通認識を得る、優先施策を決める時などに使う



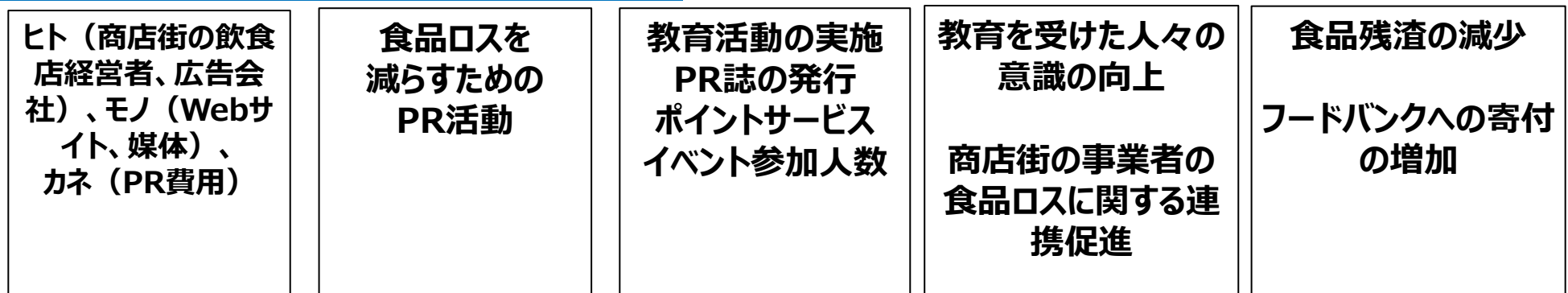


# ロジックモデルで考える：事例 食品ロス削減のPR活動

事業や組織が最終的に目指す目的を達成するまでの論理的な道すじを図式化したもの。  
異なる立場の人々が、戦略の共通認識を得る、優先施策を決める時などに使う



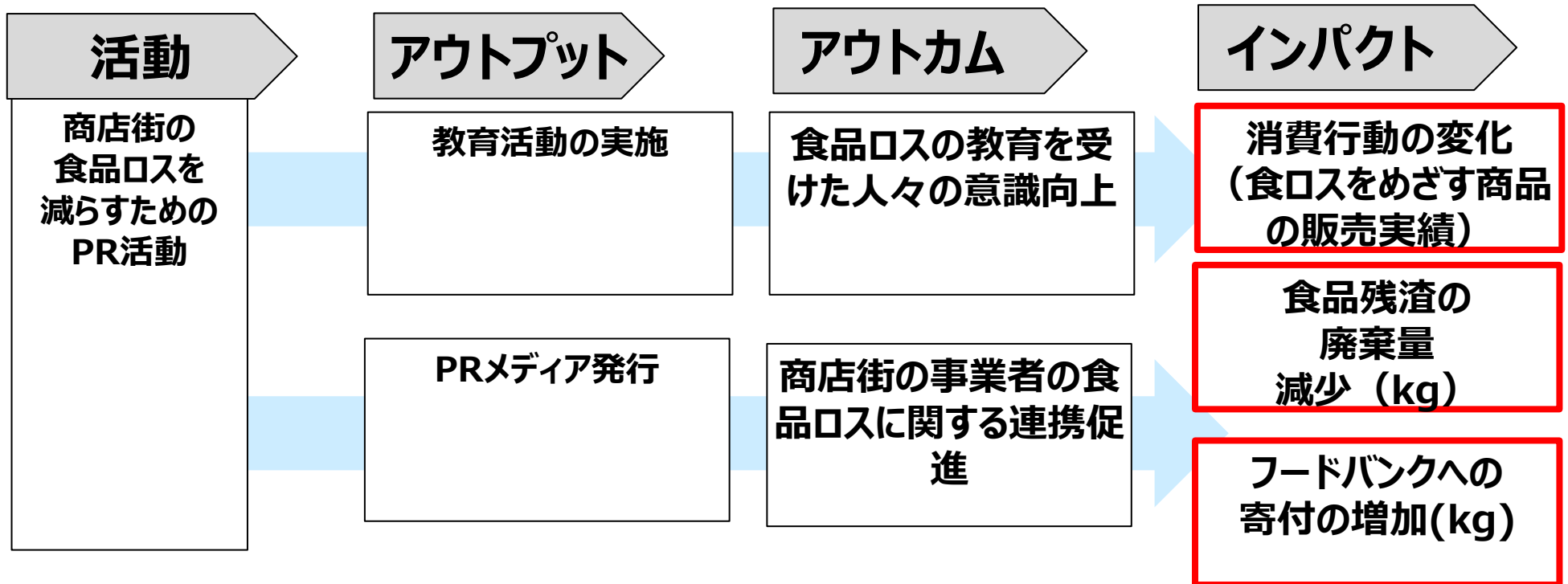
## （例：食品ロスを減らすためのPR活動）



## ②インパクトを測る指標と目標をきめる

「食品ロスのPR」がうまくいったかどうかを判断するには、どのような指標にもとづき、目標を達成するかを決めておく必要がある。

(例：食品ロスを減らすためのPR活動)





# 参考：さまざまな指標が提供されている

## 経団連インパクト指標例 –レジリエンス–

Society 5.0実現に向けて、企業・投資家が目指すべきKPI【レジリエンス】



レジリエントな経済活動	
調達先・国の分散化率(%)	
事業拠点の分散化率(%)	
災害被害ゼロ	
災害の人的被害(数)	
災害による物理的な被害額(円)	
災害情報を提供した人(数)	
犯罪被害ゼロ	
犯罪被害件数(数)	
犯罪による物理的な被害額(円)	
サイバー被害ゼロ	
データ漏洩件数(数)	
サイバー攻撃予防件数(数)	
システム平均停電時間(時間)	
顧客平均停電時間(時間)	
セキュリティ人材(数)	

基幹インフラ途絶ゼロ	
復旧日数、時間(日、時間)	
基幹インフラの長寿命化(年)	
顧客平均停電時間(時間)	
持続可能な都市化	
居住人口(数)	
耐災害性に関する指標	
バリアフリー化工事施工件数	
持続可能な輸送システム	
輸送システムの利用人数(数)	
公共交通機関の満足度(Gallup)	
交通渋滞の混雑率	
公共交通機関の断絶(日/時間)	
デジタルインフラの推進	
インターネットのカバー率(%)	
モバイルブロードバンドの契約数(100人あたり)	
IoT累計回線数	
デジタルインフラの断絶(日/時間)	

GHG排出量の削減	
再生可能エネルギーの生成量	
再生可能エネルギーの利用量	
GHG削減量	
GHG削減貢献量	
環境関連	
大気質に関連する指標	
資源効率(%)	
廃棄物処理量(トン)	
資源リサイクル比率(%)	

## ③インパクトを測定する手法を考える

(例：食品ロスを減らすためのPR活動のインパクト測定)

### インパクト指標

食品ロスの教育を受けた人々の意識向上

商店街の事業者の食品ロスに関する連携促進

食品残渣の減少

フードバンクへの寄付の増加

### 測定するための手法

食品ロス教育を受けた人々の意識の変化を測るため、アンケートをとる

商店街の事業者の件数や、事業者が関わったお客様の数を確認する

商店街の事業者に食品残渣の廃棄にかかった費用を確認する

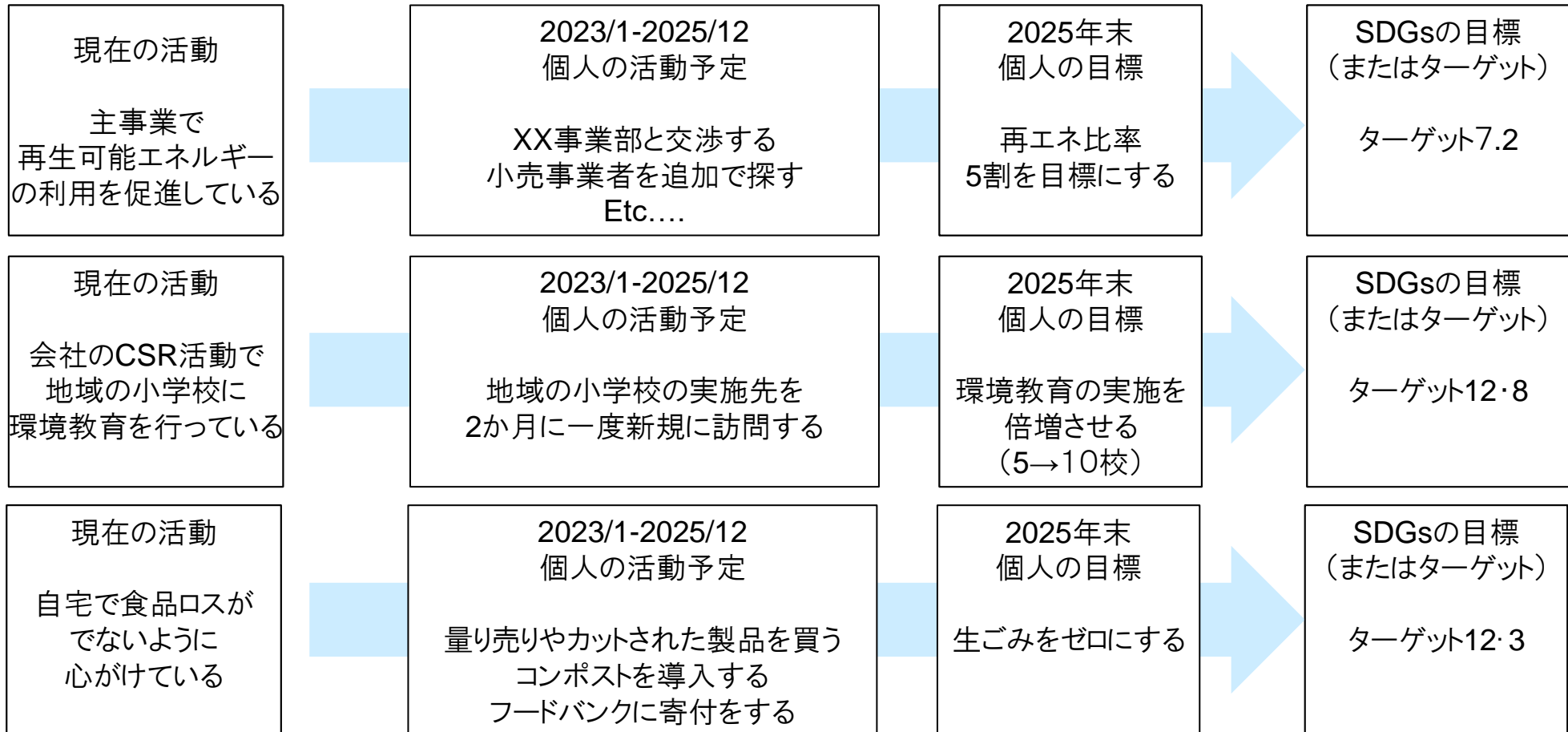
当該地域におけるフードバンクへの寄付状況を確認する



**前半に実施したワークシートを  
もう一度ご用意ください**

# 【例】2025年までの個人の目標設定

2025年末に目標達成するには、今から、約2年間でどんな活動をやってみることが考えられますか？



# 【例】2025年までの個人の目標設定

2025年までの目標達成するには、今から約2年間でどんな活動をやってみることが考えられますか？

3つの問いかけ

Q

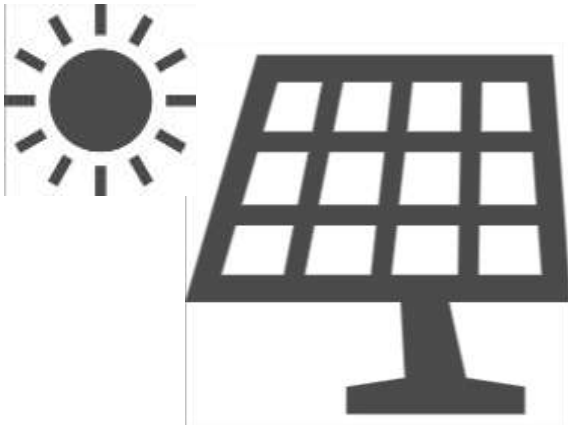


<p>現在の活動</p> <p>主要な活動として再生可能エネルギーの利用を促進している</p>	<p>2023/1-2025/12 個人の活動予定</p> <p>XX事業部と交渉する 小売事業者を追加で探す Etc...</p>	<p>2025年末 個人の目標</p> <p>再エネ比率 5割を目標にする</p>	<p>SDGsの目標 (またはターゲット)</p> <p>ターゲット7.2</p>
<p>現在の活動</p> <p>会社のCSR活動で地域の小学校に環境教育を行っている</p>	<p>2023/1-2025/12 個人の活動予定</p> <p>地域の小学校の生徒を 対象とした環境教育を実施する (5→10校)</p>	<p>2025年末 個人の目標</p> <p>環境教育の実施を 対象とした小学校を増やす (5→10校)</p>	<p>SDGsの目標 (またはターゲット)</p> <p>ターゲット12・8</p>
<p>現在の活動</p> <p>自宅で食品ロスがでないように心がけている</p>	<p>2023/1-2025/12 個人の活動予定</p> <p>量りやすい小分けの食品を買う 食品ロス削減をテーマに フードバンクに寄付をする</p>	<p>2025年末 個人の目標</p> <p>食品ロス削減をテーマに 生ゴミの量を減らす</p>	<p>SDGsの目標 (またはターゲット)</p> <p>ターゲット12・3</p>

- ①「事業」内容・規模・地域性などに適したインパクトが選定されていますか？
- ②取り組みの結果を測るための指標と目標値が設定されていますか？
- ③設定した目標値を測るための手法は確定していますか？

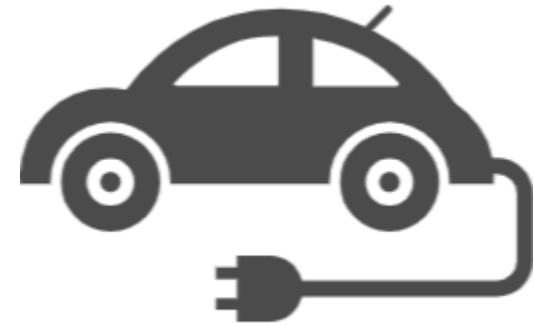
# インパクトは、ポジティブとネガティブの両面で考える

全ての事業にはポジティブ/ネガティブの両側面がある  
ポジティブな側面だけの「良い所どり」の情報開示はしない



## 例：太陽光発電所の建設

- + : 再生可能エネルギー発電
- + : CO2削減
- : 事業サイトの環境問題
- : 地域住民への影響



## 例：電気自動車への更新

- + : EV普及
- + : 非常用電源としての利用
- : 交通事故の増加
- : 地域住民への影響



# 質疑応答



**音声またはZoomのチャット機能  
をご利用ください**

# 中級編 振り返り・・・

## 本研修の目的

「初級編」振り返り + a

SDGsと業務を紐づける（個人ワーク有）

組織内の体制構築・浸透

インパクトとは

質疑応答





# 上級編もどうぞよろしくお願いいたします

- ✓ 手始めに取り組むべきは自社取り組みとの紐付け作業。
- ✓ 情報開示のための紐付作業では「変革」が起きない。社内外での「追加的」取組が重要



**STEP1 :**  
事業紐付け、課題把握  
実績の情報開示

- 株主・投資家
- 外部評価機関・自治体
- 地域住民・NGO etc.

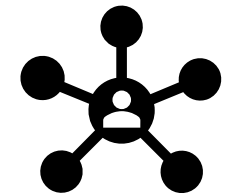


**STEP2:**  
組織意識改革

- 社員のロイヤルティ向上
- ミレニアル世代・Z世代へのアプローチ、採用
- 事業継承（中小企業）

**STEP3:**  
変革への足掛かり

- 新規ビジネス創出
- 事業構造の転換
- オープンイノベーション
- 第二創業（中小企業）



# 本研修の目的（再掲）

本研修のセミナー・ワークショップのコンテンツが  
参加者の皆様の SDGsやサステナビリティに関する行動のきっかけになることを企図しております。

「知識」 から 「行動」 へ



 本日の講座については、会場／オンライン問わず、お声がけする可能性があります。

# ご清聴ありがとうございました

本資料は、広島商工会議所 & ひろしま地球環境フォーラム様  
SDGsセミナー & ワークショップ【中級編】 むけに取りまとめました。

本資料に記載している情報、意見等は、資料作成時点における公開情報または非公開情報を  
元にした当社の判断に基づくものであり、正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料に関しますお問い合わせ、ご確認は下記までお願いいたします。

株式会社日本総合研究所 創発戦略センター  
橋爪 麻紀子  
[hashizume.makiko@jri.co.jp](mailto:hashizume.makiko@jri.co.jp)

本資料の著作権は株式会社日本総合研究所に帰属します。